

シリア国の自然と農業（6）

第6回：今後の課題

前回まで5回にわたってシリア国の自然と農業について、それぞれの地域に特徴的な農業形態、そこに生ずる環境問題を中心に検討してきた。今回は、シリア国における自然資源の持続的利用に関する今後の課題を整理するために、環境問題の現状及び考えられる対策を以下のようにまとめてみた。

項目	環境問題の現状	考えられる対策
水質保全	農業・生活排水・工場排水等による河川水や地下水の汚染、及び汚染水の農業あるいは生活用水への影響	国レベルにおける水質汚染対策の実施 地域住民レベルにおける生活排水の簡易浄化 親水事業による水質浄化及び水辺環境の整備
土壌保全	沿岸急傾斜地における土壌浸食、土壌崩壊 内陸沙漠地における土壌の風食、飛砂の害 収奪農業の継続による土壌の生産力の低下	浸食防止や集水技術としての伝統的な石積み 技術の伝承、浸食防止・雨水涵養・飛砂固定の ための植林活動の推進、輪作体系の転換
塩類集積	地下水の汲み上げすぎによる海水貫入、不適 正な水管理、用水路からの漏水、排水不良、化 学肥料の多投	水管理組合等の組織による適正水管理の徹底 作物別消費水量に応じた適正な灌漑・漏水対策・ 排水路の維持管理等の実施
女性問題	水汲み・防除・収穫作業等の肉体労働に対する女 性の負担、生活改善活動に対する男性側の不理 解、農業外収入の伸び悩み	簡易装置の導入等の小さな工夫による女性労働 の軽減、詳細な市場調査に基づいた地域産物の 開発及び手工芸・食品加工等の活性化
バディア	不適正な土地利用(ギャンブル農業に伴う土地の劣 化、禁牧区の拡大に伴う自然植生の劣化)による砂 漠化	集水手法や植生改善の試験と共に、今後はそこ に遊牧民の生活をどう取り込んでいくかといった 実際的な活動が必要

シリア国においては、歴史的な遺産を背景とした観光開発が今後とも重要な産業となろう。こうした観光開発や住民のレクリエーション活動にとって、河川域において親水事業を展開し、水質浄化を図りつつ水辺環境を整備することは今後の重要な課題となる。水質浄化のための地域レベルでの活動、例えば炭を利用した生活排水の簡易浄化等の小さな配慮が望まれる。また、伝統的な石積み技術の伝承、地域における適正水管理、女性労働の軽減等にも地域住民レベルでの活動が重要な役割を果たすと考えられる。さらに、バディアの有効利用に関しても、そこで生活する遊牧民の生活を切り離して考えることはできない。このように、今後シリア国において自然資源を持続的に活用するには、地域に根ざした住民参加型の活動を推進して行く必要がある。日本の援助にも、こういった考え方を生かし、実際に地域住民の役に立つような協力が行われていくことを強く期待する。



全国各地で大きな問題となっている
河川の水質汚染



女性の肉体労働によって支えられている
毎日の水汲み